

# 全校朝会「慮る」2 / 1

今日から2月。今年は124年ぶりに2日が節分となります。豆を撒いて気持ちを新たにします。3日は立春。いよいよ春です。そして土曜日は、楽しみにしている「ふじみ祭り」があります。そこで、校長先生から問題を出します。漢字の問題です。

まずは、初級編。次の漢字は、何と読むでしょうか。正解は担任の先生に答えてもらいましょう。 第1問「心」 第2問「田」 第3問「七」 全問正解できましたか。

次は、いきなり上級編の前に、クイズです。「クイズ この3つの漢字を含む漢字一文字を、5秒以内に答えなさい。」 はい、これも担任の先生に答えてもらいましょう。正解は「慮」。このような漢字です。見たこともないかも知れませんね。



では、上級編。この漢字に送り仮名をつけた「慮る」は、何と読むでしょうか。5秒以内に答えなさい。はい、先生お答えください。正解は、「お・も・て・な・し」ではなく、「お・も・ん・ぱ・か・る」です。「おもんばかり」ではありません。「ば」ではなく「ぱ」です。耳慣れない、違和感のある読み方ですね。

そのため、大人でも正答率はかなり低いようです。「ぱ」と読めた先生は、超一流です。

「慮る」とは、もともと、「おもいはかる（思い図る）」からきているそうです。「心くばり」とか「気くばり」という言葉に近いかも知れません。相手を思いやるということですね。例えば、「友達の気持ちを慮る」といった使い方をします。

お話を「ふじみ祭り」に戻します。ふじみ祭りでは、「おもてなし」と同時に、この「慮る」を大切にしてください。お店の人もお客さんも、同じように相手の気持ちを慮ってください。

「慮る」ことができる人は、自分が楽しむこと以上に、お友達が楽しめるように考えて、行動しようとする人です。

みんなが楽しめるふじみ祭りを楽しみにしています。

